

UPSの容量計算方法

UPSを選定するためには、接続する機器の

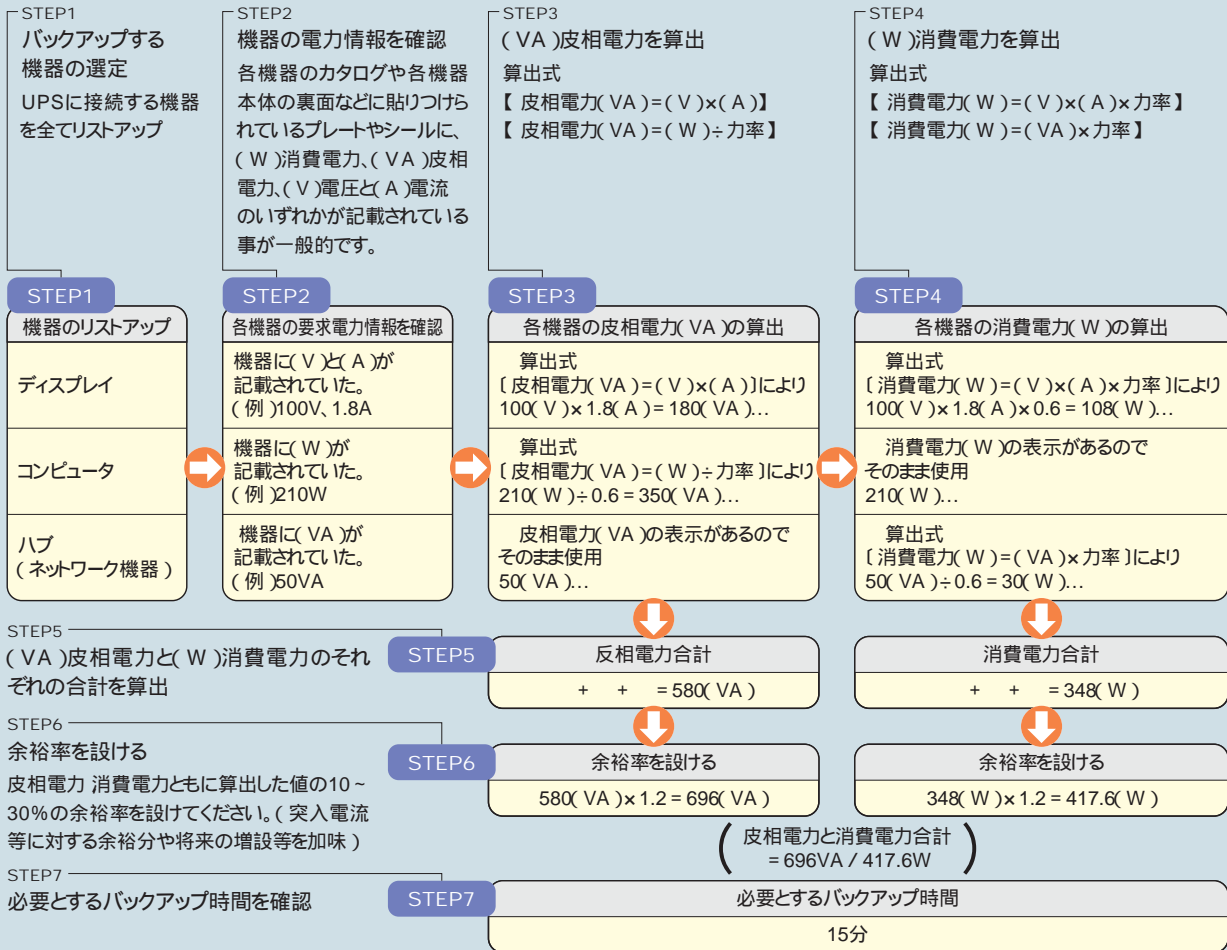
- ・皮相電力(VA)の合計
- ・消費電力(W)の合計
- ・必要とするバックアップ時間

を確認していただく必要があります。

(* UPSの定格出力容量が、接続する機器の皮相電力と消費電力以上とする事が必須の条件です。)

< UPS容量の算定方法 >

例：ディスプレイとコンピュータとハブの構成をもった機器を、15分バックアップしたい場合を想定。



ヒント 接続する機器の力率(概算)

- ・コンピュータ、ディスプレイ等..... 0.6 ~ 0.7
- ・専用サーバ等..... 0.6 ~ 0.8

* 負荷機器の仕様により異なりますのでご注意ください。

定格出力容量(VA)	300	420	500	500	600	650	750	1000	1200	1200	1400	1500	
定格出力容量(W)	180	252	300	320	360	400	500	670	870	950	950	1050	
VA	W	バックアップ時間(単位:分)											
100	60	30	30	30	40	50	30	70	80	120	100	100	120
200	120	13	14	15	17	23	23	38	41	90	58	58	90
300	180	9	10	11	11	16	15	25	28	60	41	41	60
400	240	-	5	6	6	12	10	14	16	30	29	29	30
500	300	-	-	3.5	5	8	8	11	12	25	24	24	25
600	360	-	-	-	-	4	6	8	10	20	19	19	20
700	420	-	-	-	-	-	-	5	7	16	14	14	16
900	540	-	-	-	-	-	-	-	6	11	10	10	11
1000	600	-	-	-	-	-	-	-	5	10	8	8	10
1200	720	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7
1400	840	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	6
1500	900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
給電方式/ 型番	オフライン方式	DL3115-300jL	DL3115-420jL	DL3115-500jL			DL3115-650jL						
	ライン/タクトタイプ方式				DL5115-500j	DL5107-600j		DL5115-750j	DL5115-1000j		DL5115-1400j	DL5115-1400j-20	
	オンライン方式									DL9126-1200jL			DL9126-1500jL

* DL3115シリーズ、DL5107-600jLは出力波形が矩形波(くけいは)です。UPSに接続する機器の仕様によっては矩形波が使用できない場合があります。
 * 矩形波で使用できない機器に付いては、DL5115シリーズまたはDL9126シリーズをご使用ください。
 * 上記ランタイムは、力率=0.6の負荷を想定した値となります。
 * 表中の各バックアップ時間についてはあくまでも参考値です。実際のバックアップ時間は、充電状態、周囲温度、使用年数などにより異なります。
 * 軽負荷放電時の過放電保護の為、最大バックアップ時間を設けてあります。(下記参照)
 DL3115: 30分
 DL5107: 3時間
 DL5115 500j: 60分、750j ~ 1400j-20: 2.5時間